

グローバルプロジェクトを 成功に導く仕事術、組織、人材とは

～国際宇宙ステーション 日本実験棟「きぼう」(JEM)の開発／
運用プロジェクトマネジメントを省みて～

講師：今川 吉郎 氏 (元)JAXA、特任参与／有人プロジェクト独立評価チーム長

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、我が国政府による宇宙開発利用を技術面で推進する中核的实施機関と位置付けられており、基礎研究から開発・利用に至るまでの業務を一貫して実施しています。

とりわけ、国際宇宙ステーションは、日本、米国、ロシア、カナダ、欧州の計15カ国が参加するグローバルな大規模プロジェクトであり、他国の異文化や仕事の進め方を尊重しつつ、我が国固有の優れた発想をも取込んだマネジメントを、リーダーシップをもって推進することが求められます。

今回の講演では、主にJEMの開発や運用といったグローバルな大規模プロジェクトで求められる仕事術について紹介すると共に、宇宙開発利用に代表される失敗の許されない国家プロジェクトに必要な、広い視野、緻密な洞察力、前向きな姿勢等をもった人材の育成に必要なポイントについて、長年のJAXA／NASDA人生における多岐に亘る業務への取組み*を通して得た持論を紹介し、参加各位の議論に供したいと思います。

- *JAXA及びその前身である宇宙開発事業団 (NASDA) での、① 人工衛星打上げ用ロケットの開発や打上げ、② ロケット、人工衛星、宇宙ステーション等の共通技術である各種材料、機構、構造、部品等の研究開発、③ JAXA技術基準、工程標準類の整備、④ 有人プロジェクトの安全・ミッション保証、⑤ 国際宇宙ステーション 日本実験棟「きぼう」(JEM)の開発や運用、⑥ 宇宙ステーションからの物資回収機の研究開発、⑦ 有人宇宙探査に向けた調査・検討、⑧ JEM、JEM用システム機器や実験機器、宇宙ステーション補給機 (HTV) 等のミッション達成及びJEM実験テーマの意義等を保証する独立評価、など。

【講師プロフィール】

1949年 大阪府生まれ
 1973年 京都大学工学部冶金学科 卒業
 1975年 東京大学大学院工学系研究科金属工学専門課程修士課程 修了
 1978年 東京大学大学院工学系研究科金属材料学専門課程博士課程 課程修了 (単位取得満期退学)
 1978年 宇宙開発事業団 入職
 2002年 技術研究本部マテリアル・機構技術グループ長
 2003年 宇宙3機関の統合により、宇宙航空研究開発機構の職員となる
 総合技術研究本部マテリアル・機構技術グループ長
 2006年 宇宙基幹システム本部JEM開発プロジェクトマネージャ
 2008年 有人宇宙環境利用ミッション本部JEM開発プロジェクトマネージャ
 2008年 有人宇宙環境利用ミッション本部JEM運用プロジェクトマネージャ
 2010年 有人宇宙環境利用ミッション本部宇宙ステーション回収機研究開発室 参与
 2011年 特任参与／有人プロジェクト独立評価チーム長
 2015年 宇宙航空研究開発機構 退職 現在に至る



日 時：2017年3月29日(水) 17:30～ (19時頃から懇話会)

場 所：京都大学デザインイノベーション拠点 (KRP9号館 506)

対 象：京都大学職員・学生、デザインイノベーションコンソーシアム会員、一部招待者

定 員：40名程度

参加費：無料 (懇話会 1,000円)

主 催：京都大学デザイン学大学院連携プログラム / デザインイノベーションコンソーシアム

運 営：貫井 孝 (京都大学デザイン学ユニット特任教授)

申 込：https://pro.form-mailer.jp/fms/3b2bbc87113784

締 切：2017年3月21日(火)

問合せ：デザインイノベーションコンソーシアム事務局 京都リサーチパーク(株) 山口

メール：info@designinnovation.jp 電話：075-315-8522